

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・その他補助	開始時期	平成30年4月1日	終期	令和3年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		福島潟自然文化活動事業補助金 福島潟自然文化基金を活用し、福島潟の自然文化活動事業を行う個人または団体に対し補助金を交付する。					
款・項・目		総務費 総務管理費 区政推進費					
所属等		北区 産業振興課 文化・スポーツ係 電話 025-387-1195					

年 度		平成30年度（1年目）	令和元年度（2年目）	令和2年度（3年目）			
予算額等の推移	予算(千円)	500	500	500			
	決算(千円)	35	34	35			
補助率		1/2	1/2	1/2			
目 標		福島潟に関する自然文化活動を行う個人または団体を支援することにより、市民との協働による福島潟の自然保護活動やPRを行い、自立して活動する市民を育てていくとともに、市民の柔軟な発想を生かした各種ソフト事業を実施していく。市民との協働による自然保護活動やPR事業などのソフト事業を年間2回以上、協働に携わる市民の数及び事業に参加する市民の数を合計で年間100人以上を目標とする。 <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上	72.0%	事業2回、市民参画・参加44名	66.5%	事業2回、市民参画・参加33名	64.0%	事業2回、市民参画・参加28名
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください						
補助事業者による情報の公表		案内チラシ・パンフレットに掲載					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	×
		b. 補助率は1/2以内か	○	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	×	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか（繰越金が生じていないか）	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> c：事業を展開する団体は財政基盤が脆弱であり、事業の趣旨を踏まえ補助率、補助額は内容を精査のうえ決定していく。e：制度の効果的な周知や、事前相談を充実させるなどして活用件数の向上につなげていく。 <g～hにおける取組>			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 補助率を10/10から1/2に引き下げたことや、福島潟で活動する市民団体の高齢化などが影響し、活用件数が伸びず、参加者も増えなかった。			
		① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止			
		①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること これまで、自然文化イベントのほか、体験活動や調査・研究など市民の柔軟な発想を生かした各種ソフト事業が行われており、行政と市民の協働、福島潟の自然文化活動の推進、特色ある地域づくりに大変寄与している。活用には至っていないが事前相談も数件あることから、制度の周知や活用にあたってのアドバイスなどを充実させて今後も継続とする。			